



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは こうへい 山田耕平 です

2024.3.21 No.505

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

右QRコードを

ご活用下さい



## 杉並区議会 第1回定例会 閉会

# 岸本区政の新年度予算案 賛成多数で可決

■表1.「令和6年度 杉並区一般会計予算」に対する各会派の賛否

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
人数	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×6 退4	○	○	○	×	○3 議長1	○	○1 ×1	○	×	×	×	○	×	○	×

・【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席。「自無」は10名のうち4名が退席した。「れ耕」は賛成1人、反対1人と賛否が分かれた。「無維」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。  
 ・【会派の正式名称】自無/自民党・無所属杉並区議団、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、無都/無所属・都民ファーストの会、維無/維新・無所属議員団、生ネ/区議会生活者ネットワーク、れ耕/れいわを耕す、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、セン/杉並をセンタク致し候、緑グ/緑の党グリーンズジャパン、杉わ/杉並わくわく会議、共生/共に生きる杉並、無/無所属（堀部）

2月9日から開かれていた杉並区議会・第1回定例会が3月18日に閉会しました。定例会最終日には今定例会に提案されていた議案の採決が行なわれ、岸本区長の2度目の予算提案となる令和6年度杉並区一般会計予算は、賛成多数で可決されました。日本共産党杉並区議団も賛成しました。

## 賛成27名 反対16名で可決

党区議団は岸本区長の予算案について、予算特別委員会最終日（各会派からの意見開陳）に、私が本予算案への意見を開陳しました。

本予算では、能登半島地震を受けて震災対策の拡充、学校給食費無償化の継続と私立や不登校児童生徒への対象拡大、23区最下位だった学校トイレの洋式化の5カ年での100%への推進、高齢者の補聴器購入費助成の予算の倍化、グリーンインフラによる雨水流出抑制対策の推進、参加型予算（2024年度防災分野）、が盛り込まれています。



公務を支える労働者の処遇改善（公契約条例の労働報酬下限額の引き上げ、会計年度任用職員給与の引き上げ）やケア労働者への支援拡充も予算化され

## 公共の再生に向けた予算

山田宏元区長の区政運営による職員削減の影響が続いてきましたが、職員定数の拡充も示されたことは重要な変化です。

## 前区政の様々な問題は、住民との対話の努力を

新年度予算は、住民の命とくらしを守るための予算が多数盛り込まれ、公共の再生に向けた予算となっていることは重要です。

同時に、物価高騰対策の充実、家賃助成の早期実施、国保料の負担軽減に向けた取り組み等の積極提案を行ないました。

また、前区政の諸問題（施設再編、都市計画道路、阿佐谷北東まちづくり）は、住民との対話の努力を継続することを求めました。

予算には、日本共産党のほか、立民、公明など27人が賛成。自無は10人のうち4人が退席、6人が反対。無都民などと合わせ16人が反対しました。（表1）

### 請願・陳情の結果

区議会に提出された陳情・請願の結果はコチラから



### 議案・議決結果

第一回定例会での議案・議決の結果はコチラから



# 本会議での陳情等の採決結果

# 事実婚適用を求める陳情が採択 核禁条約参加を求める陳情は不採択

## 賛否が分かれた各陳情の結果

本会議では、区民から議会に提出された「陳情・請願」についても採決が行なわれました。区民生活委員会では「採択すべきもの」とされた2つの陳情については、各会派の賛否が分かれており、全議員出席のもとでの採決結果が注目されていました。

昨年4月から始まった「杉並区パートナーシップ制度」に、異性間の事実婚を適用することを求める陳情（表2・①）については共産党、立憲民主党、公明党などの賛成多数で「採択」が決定。

反対したのは無所属・都民ファースト、参政党など。自民党は会派10名全員が退席しました。

### ■表2. 陳情に対する各会派の賛否

- ①杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情
- ②杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情

会派 人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
①事実婚適用を求める陳情	全員退席	○	○	○	×	○3 議長1	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
②核禁止条約参加を求める陳情	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

・【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席。陳情②について「自無」は10名全員が退席した。「無維」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。【会派の正式名称】表1を参照のこと。

日本政府に対し核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提出することを要請する陳情（同趣旨2本・表2・②）については、自民党、公明党、無所属・都民ファーストなどの反対多数で「不採択」でした。反対議員の責任が問われます。

**生活相談実施中 ご相談ください**

税金や国保、年金など、区政・生活についてのご相談をお受けしています。お気軽にご連絡ください。弁護士・税理士等もサポートします。  
毎週水・金の午後、法律相談会も実施中です。

**山田耕平携帯：090-9973-0941**

**保育士配置基準引き上げ等の意見書 全会一致で可決！**

保健福祉委員会で採択された保育士配置基準の引き上げを求める陳情は採択され、国への意見書も全会一致で可決されました。

意見書では、

- 「こども未来戦略方針」に示した配置基準の改善を速やかに実施すること。
- 配置基準の改善は、対象が限定される公定価格での加算対応でなく、基準の改定で実施すること。
- 国際的な水準を踏まえ、さらなる配置基準の引き上げに着手すること。
- 保育士不足の状況を鑑み、各職場で増員が図れるようにするために保育士等の賃金を引き上げることをはじめとした労働条件の改善のために必要な措置をとること。

等、踏み込んだ内容となったことは重要です。

**今週の一コマ**

**久々の40度超…体調不良で一時療養ご心配をおかけしましたが復活です！**

2月29（木）より、体調を崩し、療養生活を送っていました。ご心配をおかけして大変申し訳ありません。現在、熱も下がり、体調も元に戻りつつあります。最も酷い時には40度超が2日間、その後も38度～39度台を行ったり来たり…。かなり過酷な状況でした。各検査ではコロナやインフルは陰性、炎症反応が強く出ており細菌感染症が疑われるとのこと。抗生剤を処方され、徐々に熱も下がりました。その後の検査でも特に異常は無く、体調も復活してきています。体力の過信は「禁物」であることを痛感しています。無理し過ぎないように、今後の議会活動に取り組みます。

一時、40度超え…。区議団や地域みなさんには、ご心配をおかけして申し訳ありません。



子どものために保育士配置基準の引き上げと労働条件改善による保育士の増員を求める意見書

保育所は、子育てを支える施設であり、幼い子どもの発達を保障し、いのちを守るための不可欠な社会資源になっています。

保育所の機能拡充が進む一方で、職員配置や施設基準の改善が進まず、国際的にも低い水準のまま放置され、職員の負担が増大しています。保育所での事故が増大している状況などを踏まえれば、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士の増員が急務となっています。

政府は、国が直面する最大の危機である少子化を反転させるとして「こども未来戦略方針」を2023年6月13日に閣議決定しました。その中で、「75年ぶりの配置基準改善」として、1) 1歳児の子ども6人に対し保育士1人の基準を5対1にする、2) 4・5歳児の子ども30人に保育士1人の基準を25対1に改善することが盛り込まれました。

この内容を踏まえ、国におかれは、必要な財源を確保し、下記の事項について実現されるよう、強く要望します。

意見書全文は杉並区議会ホームページでご覧になれます。